

製品名: AHSG ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87729**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	2.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:37 kDa; Observed MW:45-60 kDa

抗原情報

遺伝子名	AHSG
別名	alpha-2-HS-glycoprotein; Fetua; Countertrypin; Fetuin-A
遺伝子 ID	11625, 25373
SwissProt ID	P29699, P24090
免疫原	マウス AHSG の組み換えタンパク質

背景

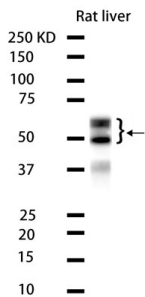
エンドペプチダーゼ阻害活性および受容体シグナル伝達タンパク質チロシンキナーゼ阻害活性を誘導すると予測される。骨石灰化の

負の調節に関与する。骨化の上流または骨化内部で作用する。ゴルジ体、コラーゲン含有細胞外マトリックス、および細胞外空間に局在すると予測される。タンパク質含有複合体の一部であると予測される。細胞外マトリックスおよび細胞外領域で活性を示すと予測される。腸管、心臓、四肢節、生殖器系、骨格筋など、複数の組織で発現する。この遺伝子のヒト相同遺伝子は、脱毛症・精神遅滞症候群 1 型、冠動脈疾患、および 2 型糖尿病に関与することが示唆されている。ヒト AHSG ($\alpha 2$ -HS 糖タンパク質) と相同性を有する。[Alliance of Genome Resources 提供、2022 年 4 月]

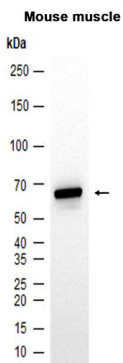
研究分野

-

画像データ



AHSG ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してラット肝臓組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。



AMRe87729 を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。